

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第5回 鈴鹿市立桜島小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 6年 1月 18日 (木) 16時55分～17時40分

2 場 所 桜島小学校家庭科室

### 協議事項

#### 1 学校評価について(別紙、学校だより)

校長から今年度の学校評価について、桜島小学校の現状や成果・課題、学年の児童の様子を踏まえて、学校関係者評価書、学校だよりを用いて、具体的に説明を行った。

委員長：クロムブックの持ち帰りについては、宿題等の家庭学習ではどのくらい時間を要するのだろうか。

校長：低学年では視写をするなど、児童の実態に応じた宿題を学年で工夫して出している。

委員：低学年の保護者から、クロムブックを持ち帰ると重いという話を聞いた。遠い家の子は大変だと思う。

校長：鈴鹿市ではクロムブックを採用している。他の機種よりも重いかもしれない。また、鈴鹿市教育委員会の方針に沿って、クロムブックの持ち帰りを進めている。

委員長：機種を変えると大変だろうし、クロムブックを継続するにしてもアップデートなども含めて、先生方も準備に追われることになる。

教育支援課：安全、安心の取組は地域の力であり、桜島地区だけでなく、玉垣地区にも取組を広げてもらっている。先日、桜島小学校では、不審者侵入対応訓練を行った。日常の見守りに加え、非常時のことも想定して、児童、職員一丸となって訓練することができた。

また、学校関係者評価では、キーワードを見つけて、各委員の皆様から意見をいただくと書きやすいと考えています。「家庭学習、読書、ICT(クロムブック)の活用、長期欠席、さくらルーム、地域の見守り活動、ボランティア活動、あいさつ」など、学校長から重点的に説明があった部分を意識して、意見いただくと良いと思う。

次年度は、もう少し学校運営協議会委員の方が書きやすいように、成果と課題が区別できたり、教育用語には、説明を加えたりするなどの工夫があると良いと感じた。